**年少クラス　指導目標カリキュラム**

□元気よく自分から「こんにちは。」が言えるようになる。(あいさつ)

□カバンから教材を出して机の引き出しに入れる。(レッスン準備)

□「お願いします。」が元気よく言える。(初めのあいさつ)

□講師の後について今日の日付が言える。(日付)

□自分の名前を元気よく言うことができる。(名前を言う)

□講師の後について、元気よく声を出すことができる。(詩の音読)

□講師の後について、正しい発音で言えるようになる。(詩の音読)

□正しい鉛筆の持ち方を意識することができる。（みみず）

□ラインの始めから書くこと、ラインの終わりで止めることができる。〈巧緻性〉（みみず）

□短い横ライン・縦ラインを意識して書けるようになる。(みみず)

□Ａ面を講師の後について①～⑩、⑩～①と正しい発音で元気よく数字が言えるようになる。〈数唱〉（タイプカード)

□Ａ面を講師と一緒に①～⑩、⑩～①と正しい発音で数字が言えるようになる。(タイプカード)

□Ａ面を①～⑩～⑩～①と１人で数字を言いながら右手人差し指を使って順番通りにさすことができる。(タイプカード)

□講師の後について声を出しながら、お空に人差し指でひらがな１文字を正しい書き順でかくことができる。（すずめ）

□正しい鉛筆の持ち方を意識しながら、ひらがなの点線を正しい書き順でゆっくりなぞることができる。（すずめ　）

□講師の後について書いたひらがな1文字や単語を元気よく言うことができる。〈正しい発音〉（すずめ）

□ひらがな１文字が最初につく言葉をできるだけたくさん言うことができる。例：「し」のつく言葉。 (すずめ)

□講師の後について、ノートに書いてある数字を元気よく言う。 (めだか)

□「０」～「１０」の数字の点線を正しい書き順でゆっくりなぞることができる。（めだか）

□「０」～「１０」の数字を、正しい書き順でゆっくり書くことができる。（めだか）

□〇の形をかくことができる。（てんとうむし）

□数字の数だけ〇をかくことができる。〈０～１０計数〉(てんとうむし)

□〇がいくつあるか数えることができる。〈０～１０計数〉 (てんとうむし)

□数字の数だけ〇に鉛筆で黒くぬることができる。〈０～１０計数〉（てんとうむし）

□同じ形をかくことができる。〈点つなぎ〉（てんとうむし）

□空いているところにちょうどいい数字をかくことができるようになる。〈０→５、0→５の数の系列〉（てんとうむし）

□同じところを鉛筆でぬることができる。〈マス塗〉（てんとうむし）

□大きい方を理解できる。〈量の概念〉（てんとうむし）

□一番大きいものを理解できる。〈量の系列〉（てんとうむし）

□３つの数字の穴埋め。〈数字の大きさや順序〉（てんとうむし）

□「１」のカード１０枚を横向き、縦向きに並べることができる。（きりん）

□「１」のカードを横向きに並べ、右から人差し指でさしながら１０まで数えることができる。〈１対１対応〉（きりん）

□「１」のカードを使って好きな形をつくることができる。（きりん）

□好きな色を選んで、自由に形をつくることができる。（パターンメーカー）

□簡単なお手本と同じ形を作ることができる。（パターンメーカー）

□小林一茶の俳句を、講師の後について正しい発音で言えるようになる。〈記憶〉（短冊）

□短冊を１枚１枚めくることができる。〈巧緻性〉（短冊）

□ひらがな３文字のカードを１枚ずつ見ながら、講師の後について正しい発音で言うことができる。（フラッシュカード）

□カードを記憶することができる。〈記憶〉（フラッシュカード）

□自分で机の中の教材を出し、カバンにしまうことができる。（忘れ物・片づけ）

□「ありがとうございました。」が元気よく言える。（終わりのあいさつ）

□ケンケンや両足とびでリズミカルに移動することができる。（体育）

□模倣運動ができる。〈うさぎ跳び・かえる跳び・くま歩きなど〉（体育）

□壁トンネルができる。（体育）

□アスレチックで楽しく動くことができる。（体育）

□跳び箱を登ってジャンプでおりることができる。（体育）

□ボール運動を楽しむことができる。（体育）

□短縄を両足で飛び越えることができる。（体育）

□大縄跳びを飛び越えたりくぐったりすることができる。（体育）

□フープで魚釣りができる（体育）

□鉄棒の山登りができる。（体育）

□鉄棒でブタの丸焼きができる。（体育）

□「オオカミさん、今何時？」ゲームを楽しんでできる。（体育）

□マット恐竜を倒すことができる。（体育）

※お子様に学習していただく内容は、保護者様とご相談の上決定させて頂きます。